

おおあさひ支部報

第113号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 小野 武
編集 大旭支部広報委員会
発行日 平成29年12月28日
印刷 有限会社大塩企画

古代の歴史に夢をはせて

役員研修会



妻沼聖天山の山門前で

晩秋の青空のもとで11月24日、社協大旭支部小野武支部長が、笠間市友部公民館歴史出前講座との共催で、役員研修会を開催しました。

笠間市友部社会福祉会館に集合した30人の参加者は、バスに乗りして一路目的地の埼玉県に向けて出発しました。車窓からは、山頂に雪をいたたく那須連峰が見られて、冬の訪れが身近に感じられました。

移動中の時間を利用して、川澄真二郎社協大旭副支部長が「笠間市友部公民館の協力を得て、研修会を開催できました。また、南秀利先生を講師にお迎

えして研修会が一層充実します。役員の方々の、支部事業への協力に感謝しています」と、あいさつがありました。

引き続き南先生から、研修先の「真言宗妻沼聖天山（しんごんしゅうめぬまし）ようてんさん」【熊谷市】と、埼玉（さきたま）古墳群・同史跡博物館および、忍（おし）城・古代ハスの里【行田市】について、丁寧な講義をいただきました。

午前の部は、国宝妻沼聖天山の国宝欲喜院を参拝しました。本殿は、華麗な玉垣（たまがき）に囲まれ、吉祥天と弁天様のすころく遊びをはじめ極彩色のすかし彫りに、一同が目を奪われていました。

昼食後は、埼玉古墳群の壮大な古墳と史跡を見学。同史跡博物館では、出土品の金象嵌（きんそうがん）の鉄剣や神獸鏡（しんじゅうきょう）などを鑑賞。大和朝廷と地方豪族の関係が、学べました。

帰途は、南秀利先生と公民館関係者に感謝をしつつ、古代の歴史に夢をはせた研修を終りました。

研修成果を 配食に活かす

女性部研修同行記

10月20日、支部女性部（渡辺米子部長）の研修には32人が参加、福島県いわき市のかまぼこ製造会社「夕月」に向かいました。

午前10時頃に視察場所の夕月に着くと、係の人に案内され、かまぼこ竹ちくわ作りの手ほどきを受ました。こぶし大の魚のすり身をへらを使って形作っていきましたが、かまぼこに比べ、竹ちくわの方がへらの使い方が難しく、手でつかんで竹串に巻き付けたくなるほどでした。

体験学習の後は、工場内見学に移り、魚肉のすり身づくりや、かまぼこ・ちくわなどの製品をつくる行程を窓越しに見ることができました。

加工場内と見学通路は完全に仕切られ、徹底した衛生管理がなされていました。工場直営の店舗へ移動すると、商品の味・形・包装にいろいろ

と工夫がこらされ、購買意欲をそりました。



かまぼこ工場の前で

昼食は、海の幸をふんだんに使った御膳料理でした。女性部では、このような機会に出された料理を参考にし、食欲をそそる栄養のバランスがとれた配食弁当を作るそうです。

昼食後は、十分に時間がとれたので大型市場「いわき・ら・ら・ミュウ」に行き、魚介類を中心とした地元の特産品を見学できました。

また、東日本大震災に関連する展示会場もあり、7年前の記憶を思い起こしました。今では漁業を中心とした、海産物加工場・商店街・レストランなどに復興した町を視察でき、有意義な研修でした。



みんなで作った紙ヒコーキ

さらに、笠間市友部消防署
開会式では、浦井靖夫区長の司会進行・青木清区長の開会の言葉・実行委員会代表の石崎圭一区長が主催者あいさつをして開会されました。(余村英之区長は、会計担当)

また来賓として、川澄真二郎社協大旭副支部長から「この団地に入居以来、運動会・歩く会を経て交流会へと団地内の懇親が図られてきたことは、大変有意義です」と、祝辞が述べられました。

みんなの協力で

旭台団地

山茶花の花の咲く11月11日旭台団地会館と同運動場で、旭台団地三世代交流会が開催され、137名の参加者が会場に集合しました。

また、水消火器での消火訓練・煙道内のくぐり抜けなどを、体験出来ました。

お昼時には、競技上位者の表彰式とビンゴゲームを楽しみ、車座での食事のあとに散会しました。

なお当日の運営には、区長と班長・高齢者クラブ・子ども会・技術指導者など、40人あまりが協力していました。

活気に満ちた三世代交流

旭台

11月5日、晴天のもと旭台公民館で大勢の方が参加して、ふれあいの集いが開催されました。

木村昭二区長の開会のあいさつが終わると、それぞれの作業の分担にしたがって配置につきました。

おとうさん(祖父・父)は

笠間市社会福祉協議会大旭支部では、毎年各地区で開催される三世代交流会に、助成を行っています。

第二小学校ふれあいのつどい 昔遊びを元気に体験

冬の気配を感じさせる校庭には、元気に児童たちの明るい声が響き渡る11月4日、友部第二小学校主催「三世代ふれあいのつどい」が、同校々舎や体育館、グラウンドを会場に全校児童や保護者、社協大旭支部関係者やボランティアなど約1000人が集まると、盛大に開催されました。

「はじめのつどい」が、実行委員(すべて6年生)によって進められ、東愛里彩さんの司会によって、甘利勇太君のはじめの言葉で開会されました。

長堀成子校長先生が児童たちに「今日はふれあいの日、昔遊びをたくさん、お父さんお母さんと一緒に学んでください。」また、矢澤新太郎PTA



魚つり〜保護者も真剣に

会長、川澄真二郎社会福祉協議会大旭副支部長が「友二小は地域に愛されている小学校です。地域の人たちと昔遊びのおてだまやメンコ、折り紙、はねつき、ベーゴマなど、昔遊びを教えていただきながら、いろいろな人と接してお話をしながら、勉強をしてみてください。そして体験させていただく日です。伝統文化と遊びを心にきざみ、大いに楽しんでください」とあいさつ。

岡本真幸君がボランティアの紹介、秋元希優さん・藤枝杏圭梨さんが催し物の案内をし、金子朔也君の終わりの言葉で「はじめのつどい」が終了しました。



たけうまはむずかしい

その後、教室や体育館、屋外に分かれ、ボランティアや支部役員らによって竹馬・めんこ・ベーゴマ・紙ひこうき・どんぐりごま・おりがみ・けんだま・はねつき・まとあてなど21種類の遊びやゲームが準備されて、各会場ではボランティアのみなさんから伝統の遊びを学びました。

なかでも、ベーゴマではひもの巻きかたや、床(とこ)に投げ入れて回転させる方法など、はじめて体験する遊びに四苦八苦しながらも子どもたちは熱心に取り組み、お父さんお母さんも一緒に楽しんでいました。

「おわりのつどい」も、実行委員の三宅結月さんが司会を



頼もしい餅つき姿

餅つきで、蒸し上がった餅米を木臼にいれ、2人で向かい合いで声を合わせてつきあう姿は、頼もしく感じられました。つきあがった餅は、おかあさんに渡され、あんこ餅やきなこ餅に加工されていきました。

一方、子ども会を取り立ての新鮮な野菜(大根・白菜・冬瓜・キャベツ)や果物などを軒先に並べて、模擬店を開き商売の勉強をしました。

炊事場では、おかあさん(祖母・母)が腕によりをかけて、けんちんうどんを作り、11時30分を過ぎた頃には、テーブルにご馳走が並べられ、子ども達が「おいしいね」と話ながら、賑やかな雰囲気の中で、外で餅つきをしてい

務め、横田翔太君、東愛里彩さんから大旭支部関係者やボランティアのかたがたに、感謝とお礼の言葉が述べられ、秋元希優さん・藤枝杏圭梨さんから協力者に花束がプレゼントされ、甘利勇太君の終わりの言葉で終了しました。

青空を舞う紙飛行機

旭平二区

11月19日、旭崎新農村集落センターで大勢の方々が集まって、ふれあいの集いが開催されました。

山田保治区長より開会のあいさつがあり、引き続き来賓の紹介が行われました。

この後、班別(10班)に別れ記念写真の撮影が行われました。

記念式典が終わると、ゲームが開始され、全部で5種類(輪投げ、ストライカー、パターゴルフ、豆つかみ、紙ヒコーキとばし)が準備されていて、次々と切れ目なく、進められていきました。

お昼になると、女性の方々



お母さんとパターゴルフ

が作ってくれたカレーライスを食べながら、ゲームを続けていき、次々と得点が集計されて、競技ごとに表彰が行われました。紙ヒコーキ飛ばし子どもの部では、9歳39歳の記録をだして第1位となり、盛大な拍手と、賞品がおくられました。

最後のお楽しみは、ビンゴゲームで、数字が発表されるごとに「これは調子がいい」「なかなかそろわない」などの声がかかると、ビンゴゲームの楽しさがうかがえました。

全てのゲームが終了すると閉会式にはいり、盛大な三世代の集いが終了しました。

たおとうさんには、あつあつのけんちんうどんとつきたての餅が振るまわれました。

地区の総力を集めて

旭崎一区

11月12日旭崎新農村集落センターにおいて、旭崎一区主催「三世代交流秋祭り」が開催

され、会場に90人を超える地区の皆さんが参加をしました。

会場入口の綿あめコーナーは、子供の人気のまじりでした。会場にはフリー参加のイベントが行われ、紙ヒコーキ飛ばし(直線距離)や、グラウンドゴルフのホールインワン(2球勝負)と豆つかみ(制限時間30秒・3回の合計数)が競われて、歓声があがっていました。

一方ホール前の通路では、子どもたちがおじいさんの手伝いで、かわるがわる餅つき体験をして息を弾ませていました。



臼の真ん中をめがけて

また、おとうさん方とおかあさん方の協力で、餅料理と焼きそばなどが、出来上がりました。

昼時には、センター内のホールに参加者全員がつどうなかで、佐竹克文区長の主催者あいさつに続き、来賓の川澄真二郎社会福祉協議会大旭副支部長から「旭崎一区の皆さま方の、絆の強さを実感しました」と、祝辞を述べられました。

続く会食でおなかを満たしたあとに、各種競技の表彰式と子ども会が主役のビンゴゲームで盛り上がり、散会しました。

なお当日は、高齢者クラブ・子ども会・班長・協力者の皆さんが、総力で会を支えておられました。

祝 敬老会

地域の発展に寄与 高齢化社会への対応 友部第二小学校区

校舎の周りは秋の気配、落ち葉がグラウンドを彩る10月7日、友部第二小学校体育館で合同敬老会が開催、12人の米寿を迎えた方々が紹介され、招待者など約150人が出席して行われました。

青木清実行委員長（区長会長）が「毎年、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。高齢化社会と言われている中、支部でも高齢者や空き家が増えています。健康で長生きをして頂き、今年も元気な姿を拝見できてうれしく思います。健康には十分注意されてお過ごしください」と主催者あいさつをされました。

来賓を代表して、堀内信彦市長の祝辞を代読「これまで皆さん方の、地域におけるご尽力に敬意を表します。皆さん



友二小音楽隊の演奏を楽しむ

と一緒に長寿をお祝いすることをうれしく思います。また、これまで培ってこられた貴重な経験、知識が豊かな方々が、知恵を出し合い地域を作ってこられました。

これからは、健康に十分留意されてほしいと思います。また、介護・医療認知症等ご心配かと思いますが、行政として一生懸命に取り組み、高齢化社会を支えてまいります」と述べ、常井洋治、村上典男両県議を初め多くの方から祝電をいただきました。

アトラクションとして、アロ・ハマイ（河原井規夫代表）によるウクレレ演奏と、シルバリーハピリ体操指導士会友部支部（池田和輔代表）によるいきいきヘルス体操など、

座ったままできる運動などが披露されました。

また、友部第二小音楽隊による演奏と作文が披露、東愛里彩（6年）さん・茅場美都（6年）さんの司会で進行され、三宅結月（6年）さんが音楽隊を紹介し、金管楽器による水戸黄門の演奏、音楽隊6年生がハンドベルなどによる川の流れるようにの合奏、参加者一人一人に、児童から手作りの思いがけないプレゼントに大喜び、浅川夏帆（6年）さんが「おじいさん、おばあさん、これからも笑顔でいられるようお身体を大切にしてください」と作文を発表、吹奏楽演奏と歌や踊りに、アンコールもありお年寄りたちは楽しい一時を過ごしました。

手紙とメダルで

お祝い

旭崎一区

9月10日旭崎新農村集落センターに29人のお客さまを迎えて、恒例の敬老祝賀会が開催されました。

主催者を代表し、佐竹克文区長が「皆さんは地域の礎を築かれました。功績に感謝す



ハワイアンバンドにのせて、歌が唇に!

るとともに、ご長寿をお祝いたします」とあいさつ。

これに答え、小野武高齡者クラブ新生会々長から、お礼の言葉がありました。引き続き、市長メッセージの伝達。子ども会の皆さんからは、手紙と手作りのメダルがお客さまに贈られ、心あたたかな式典が終わりしました。休憩時間にはおかあさん方から、抹茶のおもてなしがありました。

アトラクションでは、友部囃子仲南会・荒木久仁子代表の太鼓・笛・鉦（かね）の響きと、アロハ・マイ（川原井規夫代表）のハワイアンメロディを楽しみました。

お昼は、赤飯と野菜中心の健康料理で、会食のちに散会となりました。

第四回、自主防災訓練

大沢下一区

大沢下一区自主防災会（鈴木重雄会長）は、10月15日に防災（避難訓練）を大沢保育東側広場で開催しました。

開会式では、狩谷博道統括部長の司会で鈴木重雄会長が主催者あいさつ。協力機関の笠間市友部消防署青木勝也副署長・鈴木毅笠間市第29消防分団長・鈴木征夫笠間市第29分団消防後援会々長が出席。鈴木後援会々長から「訓練をかさねて、成果が得られるよう期待します」との、言葉がありました。

参加者は、友部消防署々員と消防分団々員から、避難方法・消火器訓練・煙道内通過の実技指導を受けて、貴重な体験をしていました。

体験の終了後には「日赤笠間赤十字奉仕団」と笠間市社協防災ボランティア「友援の会」の支援で非常食の試食をして、訓練を終了しました。

冷たい雨の中を、総勢60余人の参加者が出席し、防災意識の高さがうかがわれました。

団地みんなで

敬老祝賀会

若狭山団地

10月29日、若狭山団地公民館で大勢の団地住民が参加し敬老祝賀会が行われました。

天気の良い年は、外で紅白玉入れや輪投げなどのゲームが行われていましたが、今年は雨のため神事（団地住民の健康と安全を願って、祈願祭を行う）



祈願祭のあとの記念撮影

の後、記念写真撮影がおこなわれ、直ちに屋内に移り、祝賀会の式典が始まりました。

式典では、今野豊雄区長よりお祝いの挨拶と笠間市長・茨城県知事・各議員からの祝辞紹介がありました。引き続き、敬老者の方々に区長より「今回はご夫婦の方には別々の記念品を選びました」と説明があり、記念

品の贈呈が行われました。

懇親会では、ご馳走や飲み物がテーブルいっぱい並べられていて、これらを食べた後、飲みながら、会話が弾んでいきました。

ゲームの時間になると、係の指示に従って文字や形から県名をあてたり、勝ち抜きジャンケンで大いに会場の雰囲気盛り上がりしました。

閉会の辞の後、会場内の熱気は冷めず、高齢者の方々の囲み、心を通わせる懇親会が続いていき、流れ解散となりました。

共に生きて来た仲間とともに

旭台

10月1日旭台公民館に19人のお客さまをお迎えして、地区主催の敬老祝賀会が開催されました。

式典は、木村昭二区長の主催者あいさつのちに、山口伸樹笠間市長のメッセージと多くの祝電が披露されました。引き続き、寺門康康民生委員から、出席されたお客さまの紹介がありました。

お祝いの宴は、木村区長の乾杯の音頭で始まりました。



帰りには花束のプレゼントが

お客さまはつながりの深い方が多く「同じ世代を共に生きてきた仲間との話し合いは、本当に楽しい」などの語らいを楽しみ、昔話をできる仲間との機会も少なくない。また、昼ときには美味しいお寿司や料理をいただいていた様子でした。

お帰りの際には、係りの女性から花束のプレゼントを受けた、お客さまの笑顔が印象的でした。

最後の紹介になりましたが、この祝賀会は地区の班長ならびに福祉推進員の皆さん方が参加して、運営をささえていました。

演技と演奏に

魅了されて

旭台団地

栗やカキがたわわに実り、秋の気配が漂う9月18日旭台団地会館で、平成29年度旭台団地敬老祝賀会が開かれました。今年度は、関係者を含め約90人が出席され、地区開催の敬老祝賀会としては盛大に開催されました。

午前10時から式典が始まり、青木清実行委員会副委員長（4区区長）が開会の言葉を宣言、石崎圭一実行委員長（1区区長）が主催者を代表して「皆様は、団地の発展にご尽力され、安全・安心な団地へとなってきました。これからも末永く健康で健やかに過ごしていただきたいと思います。今日は2人の方が米寿を迎えられました。これからもこの団地を住みよくするため、努力してまいります」とあいさつ。

また、堀内伸彦笠間市長・高齡福祉課長が、市長代理として祝辞を述べられました。つづいて、渡部仁さんに米寿記念品が贈呈されました。



米寿のお祝いをうける渡部さん

休憩後は、小松崎美恵子さんの、ちんどん屋と南京玉すだれと、演奏グループ・ローサスから歌声広場が披露され、お客さま方は見事な演技と演奏に魅了されていました。

実行委員会の総力を挙げた祝賀会は、福引抽選会をもって閉会しました。

台風のため中止に

旭平二区

旭平二区（山田保治区長）は、9月18日に旭崎新農村集落センターで敬老会を開催するため、準備を進めて当日の実施を待つばかりにしていたが、大型の台風18号の影響により中止となりました。



鍛えた技と思いやりと

社協大旭支部主催グラウンドゴルフ大会

友部第二小学校校庭のメタセコイヤの大樹があざやかな黄葉を染めるなかで、11月19日に「笠間市社会福祉協議会大旭支部主催第15回グラウンドゴルフ大会」が、開催されました。

この大会は前日に開催予定のところ、天候不順のため当日に順延されましたが、来賓の山口伸樹笠間市長をはじめ社協大旭支部関係者役員ならびに女性部・第二小学区内高齢者クラブ(7チーム)・関係看護師の、総勢80人が参加して行われました。

開会式は、旭崎新生会の大澤圭三さんの司会で進められ、青木清ふれあいクラブ会長の開会の言葉につづいて、主催者の狩谷博道大旭支部部長と荻津正男実行委員長代行から、支部事業に対するお礼とともに「好天のもと日ごろ鍛えた技を発揮して、優勝を目指してください。またグラウンドゴルフを通して、会員相互の融和と健康増進をはかってください」と、あいさ

つがありました。

来賓の山口伸樹笠間市長からは「第15回大会に招待いただき感謝をしますとともに、大会の成功ならびに皆様方の健康維持と、地域のリーダーとして数々の貢献にお礼を申し上げます」とあいさつをされました。

セレモニーあとに、旭崎新生会の笹嶋秀介審判長から競



10位までの入賞者

技上の注意があり、園部勝旭台睦会々長の開会の言葉で、開会式を終了しました。

競技前には、若狭山会の鈴木勝義さんのリードで8種類のストレッチ体操が行なわれ、体と心の緊張がとかれていました。

試合開始にあたっては、審判長が各コートの準備状況をひとつひとつ確認をしたあとで、一斉に始められました。

試合が始まると、スティックがボール打つ瞬間の軽やかな音と、開始早々ホールインワンの歓声が、こここ

で湧き上がります。また、同伴者のマークの手伝い(公式試合は無効です)や「お先にどうぞ!」「ありがとう」など、マナーのいい試合風景がそこかしこで見受けられ、第1ゲーム・第2ゲームが流れるように終了しました。

得点差は、首位と2位が2打。2位と3位が1打。首位と10位が7打差。ホールインワンが入賞者で9回もあり、レベルの高さがうかがわれました。

閉会にあたっては、成績発表とともに表彰式が行われ、上位10位迄の入賞者(写真と

表を参照)に、賞品(荻津正男氏の、丹精を込めた新米が贈られました)。

大会終了後には、社協大旭支部女性部(渡辺米子部長以下8人)の心を込めたカレーライスに舌鼓を打ち、散会しました。(篤志家から、食材のご提供がありました。)

なお22人の方が、大会延期のため、やむを得ず欠席となりました。次回の活躍に、期待致します。

優勝 木村 孝男氏 (若狭山会)

準優勝 小坂部とみ氏 (旭台睦会)

第3位 大津 千代氏 (ときわ会)

第4位 添田 義弘氏 (三友会)

第5位 松居 孝氏 (ふれあいクラブ)

第6位 柏 善男氏 (旭崎新生会)

第7位 早乙女 稔氏 (ときわ会)

第8位 上原 フサエ氏 (若狭山会)

第9位 菱沼 作太郎氏 (若狭山会)

第10位 山田 耕作氏 (旭崎新生会)

支部活動を紹介します

一、在宅介護者ふれあいサロン
本年も地域の民生委員・児童委員の協力のもとで「在宅介護者へのふれあい贈答品」をお届けしました。

多くの方から感謝を頂きましたが、紙面の都合により詳細は次号で紹介致します。

二、居場所づくりの準備状況
大旭支部女性部(渡辺米子部長が準備中の「高齢者の居場所づくり事業」では、10月17日(金)笠間市高齢福祉課・笠間市社協・サロン運営者35人が、活動の報告・検討を実施しました。導入時期は、平成30年度の予定です。

ご挨拶

本年中は、当支部の事業にご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。新しい年が、会員の皆様にとりまして幸多い年でありますことをお祈りしつつ、支部報113号をお届けいたします。

社協大旭支部長 小野 武